



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月29日

上場会社名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社  
 コード番号 8242 URL <http://www.h2o-retailing.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 鈴木 篤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 森 忠嗣

TEL 06-6365-8120

四半期報告書提出予定日 2020年2月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	693,976	0.9	11,891	26.9	12,300	27.6	2,533	59.3
2019年3月期第3四半期	700,406	1.6	16,277	9.4	16,989	13.5	6,227	59.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 3,151百万円 ( 23.9%) 2019年3月期第3四半期 4,141百万円 ( 86.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	20.50	20.36
2019年3月期第3四半期	50.41	50.10

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	675,528	277,909	40.9
2019年3月期	663,335	279,603	42.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 276,601百万円 2019年3月期 278,364百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		20.00		20.00	40.00
2020年3月期		20.00			
2020年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	928,000	0.1	16,000	21.7	16,200	24.2	5,000	131.2	40.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	125,201,396 株	2019年3月期	125,201,396 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,586,098 株	2019年3月期	1,609,297 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	123,611,340 株	2019年3月期3Q	123,523,477 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載の連結業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4'3.「今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績の状況	2
2. 貸借対照表の状況	3
3. 今後の見通し	4
4. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9
5. 補足情報	11

# 1. 経営成績の状況

(百万円)

	17/12累計	18/12累計	19/12累計		
	金額	金額	金額	前年比	増減
百貨店事業	344,733	370,438	370,615	100.0%	+ 176
食品事業	296,428	282,304	270,628	95.9%	△ 11,676
不動産事業	7,989	6,663	6,169	92.6%	△ 494
その他事業	40,055	40,998	46,563	113.6%	+ 5,564
売上高	689,206	700,406	693,976	99.1%	△ 6,429
百貨店事業	14,374	13,485	10,696	79.3%	△ 2,788
食品事業	814	461	△ 1,100	-	△ 1,562
不動産事業	3,887	3,346	3,162	94.5%	△ 184
その他事業	3,439	4,628	3,628	78.4%	△ 999
調整額	△ 4,539	△ 5,644	△ 4,495	-	+ 1,149
営業利益	17,975	16,277	11,891	73.1%	△ 4,386
経常利益	19,645	16,989	12,300	72.4%	△ 4,689
特別利益	5,151	577	857	148.5%	+ 279
特別損失	2,277	6,070	7,399	121.9%	+ 1,328
親会社株主に帰属する 四半期純利益	15,194	6,227	2,533	40.7%	△ 3,693

※セグメント別売上高は外部顧客への売上高

※2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更したため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合。

## ▶売上高

第3四半期累計期間の連結売上高は前年同期比99.1%となりました。第2四半期までにおいては、前年度に相次いだ自然災害が今年度は少なかったこと、また消費税増税前の駆け込み需要が寄与したことにより、連結売上高は前年同期比101.4%と伸長いたしました。しかしながら、増税後は、駆け込み需要の反動減に加えて、消費マインドの冷え込みによる買い控えや、暖冬の影響により、百貨店事業および食品事業の売上高が減少いたしました。その結果、第3四半期期間(10～12月)の連結売上高は前年同期比95.0%となりました。

## ▶営業利益および経常利益

売上高の減少に伴う粗利益の減少により営業利益は前年同期比73.1%、経常利益は前年同期比72.4%となりました。

### (百貨店事業)

2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントから株式会社阪急阪神百貨店へ移管し、屋号をそごう神戸店から「神戸阪急」、西武高槻店から「高槻阪急」へと変更したため、今年度より神戸・高槻事業を百貨店事業に統合しております。

阪急本店の売上高は前年同期比101.9%と伸長いたしました。第3四半期期間においては、増税の影響により売上高前年同期比は91.5%となりましたが、第2四半期までの国内顧客およびインバウンド顧客の売上伸長が寄与しました。阪神梅田本店は、2018年6月の建て替え第1期棟開業景気の反動などにより、売上高前年同期比は94.1%となりました。2019年10月に開業した神戸阪急および高槻阪急は、屋号変更に合わせて改装を実施した食品売場が集客に寄与し、想定を上回る売上高となりました。

以上の結果、百貨店事業の売上高前年同期比は100.0%と前年同期と同水準となりました。しかしながら、衣料品の売上が低調に推移し、粗利益率が低下したことに加えて、阪神梅田本店の減価償却費や、神戸阪急および高槻阪急の改装に伴う経費が増加したことなどにより、営業利益は前年同期に対して27億円の減益となりました。

（食品事業）

食品事業は、前年同期に対して減収減益となりました。

イズミヤ株式会社では、建て替え店舗や新店が売上高増加に寄与しましたが、再編を進めているGMS店舗において非食品部門の売場面積が減少していることに加えて、不安定な天候の影響や増税後の非食品部門の売上落ち込みなどにより、売上高前年同期比96.4%、営業利益は前年同期に対して13億円の減益となりました。

株式会社阪急オアシスは、価格政策の見直しおよび経費削減の取り組みを進めましたが、売上高が前年同期比95.7%、営業利益は前年同期に対して4億円の減益となりました。

（不動産事業）

千里中央地区の商業施設・セルシーの信託受益者である合同会社サントルにおいて、再開発に伴い空き区画が増加していることにより、減収となりました。また、株式会社阪急商業開発において、12月に増床開業した洛北阪急スクエア（旧名称 カナート洛北）のリニューアル工事中の休業や開業費用の発生などにより、前年同期に対して減益となりました。

（その他事業）

今年度より連結対象となった株式会社アズナス、株式会社阪急フレッズなどが売上高の増加に寄与いたしました。ビジネスホテルを運営する株式会社大井開発や、商業施設の店舗内装設計・施工を担う株式会社阪急建装などが増益となりましたが、子会社からの配当金が減少したエイチ・ツー・オー リテイリング株式会社が減益となったことなどから、その他事業全体では前年同期に対して減益となりました。

▶親会社株主に帰属する四半期純利益

イズミヤ泉佐野店の売却などにより、特別利益を8億円計上いたしました。特別損失については、イズミヤの進路設計支援費用を32億円、イズミヤの閉店店舗売却に伴う固定資産売却損を8億円、不採算事業の撤退に伴う事業整理損を7億円計上するなど、合計73億円を計上いたしました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は25億円、前年同期に対して36億円の減益となりました。

主な特別損益の状況 (百万円)

内容	金額	連結損益計算書上の表示
特別利益	857	(対前年+279百万円)
イズミヤ泉佐野店 土地建物売却	839	固定資産売却益
特別損失	7,399	(対前年+1,328百万円)
イズミヤ早期退職加算金	3,289	進路設計支援費用
イズミヤ大東店 土地建物売却	863	固定資産売却損
家族亭、サンローリー株式交換	543	株式交換差損
阪急キッチンエール九州事業終了	417	事業整理損
ウイズシステム 事業譲渡	241	事業整理損
千里セルシー 建て替え関連	193	店舗等閉鎖損失

## 2. 貸借対照表の状況

(百万円)

	18/12末	19/03末	19/12末		18/12末	19/03末	19/12末
現金及び預金	49,272	55,229	33,076	支払手形及び買掛金	80,038	59,732	73,785
受取手形及び売掛金	63,645	49,886	68,734	借入金及び社債	156,984	164,920	161,279
棚卸資産	37,048	33,920	34,813	負債合計	389,292	383,731	397,618
流動資産合計	163,586	150,003	148,804	株主資本	243,786	239,755	237,374
固定資産合計	505,823	513,331	526,724	純資産合計	280,117	279,603	277,909
資産合計	669,409	663,335	675,528	負債純資産合計	669,409	663,335	675,528

### 3. 今後の見通し

2020年3月期の通期業績予想に関しましては、当第3四半期連結累計期間の結果及び消費税増税後の影響が不透明であることなどを踏まえて、2019年10月31日に公表しました連結業績予想から、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ変更しております。変更後の予想は以下のとおりです。

2020年3月期連結業績予想の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株あたり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 939,200	百万円 18,000	百万円 18,200	百万円 7,000	円 銭 56.63
今回修正予想(B)	928,000	16,000	16,200	5,000	40.45
増減額(B-A)	△11,200	△2,000	△2,000	△2,000	-
増減率(%)	△1.2%	△11.1%	△11.0%	△28.6%	-
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	926,872	20,422	21,376	2,162	17.5

4. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	55,229	33,076
受取手形及び売掛金	49,886	68,734
商品及び製品	31,600	32,759
仕掛品	329	375
原材料及び貯蔵品	1,990	1,678
未収入金	6,778	6,773
その他	4,643	5,849
貸倒引当金	△454	△442
流動資産合計	150,003	148,804
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	115,608	132,414
機械装置及び運搬具（純額）	3,420	3,486
土地	147,281	144,560
建設仮勘定	7,666	1,087
その他（純額）	10,882	12,694
有形固定資産合計	284,860	294,243
無形固定資産		
のれん	4,076	3,726
その他	14,685	16,975
無形固定資産合計	18,762	20,702
投資その他の資産		
投資有価証券	121,149	123,498
長期貸付金	4,571	6,415
差入保証金	72,290	71,819
退職給付に係る資産	-	159
繰延税金資産	11,942	10,748
その他	2,683	2,074
貸倒引当金	△2,928	△2,938
投資その他の資産合計	209,709	211,778
固定資産合計	513,331	526,724
資産合計	663,335	675,528

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,732	73,785
短期借入金	8,000	24,500
1年内返済予定の長期借入金	20,201	16,400
未払金	19,655	23,706
リース債務	749	926
未払法人税等	4,151	1,843
商品券	29,676	28,540
賞与引当金	5,018	2,654
役員賞与引当金	156	105
店舗等閉鎖損失引当金	967	336
ポイント引当金	1,823	2,418
資産除去債務	68	51
その他	23,888	25,447
流動負債合計	174,092	200,717
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	116,718	100,379
繰延税金負債	26,152	25,498
再評価に係る繰延税金負債	266	266
役員退職慰労引当金	221	206
商品券等回収引当金	4,020	4,272
退職給付に係る負債	16,827	15,253
長期末払金	621	570
リース債務	8,686	14,106
長期預り保証金	9,820	9,871
資産除去債務	2,755	3,473
その他	3,548	3,002
固定負債合計	209,639	196,901
負債合計	383,731	397,618
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,796	17,796
資本剰余金	92,675	92,660
利益剰余金	132,278	129,868
自己株式	△2,995	△2,951
株主資本合計	239,755	237,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,864	43,933
土地再評価差額金	124	124
為替換算調整勘定	△788	△1,570
退職給付に係る調整累計額	△3,591	△3,261
その他の包括利益累計額合計	38,608	39,226
新株予約権	1,235	1,304
非支配株主持分	4	4
純資産合計	279,603	277,909
負債純資産合計	663,335	675,528



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	700,406	693,976
売上原価	498,642	495,569
売上総利益	201,763	198,407
販売費及び一般管理費	185,486	186,515
営業利益	16,277	11,891
営業外収益		
受取利息	60	122
受取配当金	1,311	1,302
諸債務整理益	1,147	1,185
その他	653	669
営業外収益合計	3,172	3,280
営業外費用		
支払利息	654	577
商品券等回収引当金繰入額	887	942
その他	918	1,351
営業外費用合計	2,461	2,871
経常利益	16,989	12,300
特別利益		
固定資産売却益	-	840
負ののれん発生益	-	17
受取保険金	577	-
特別利益合計	577	857
特別損失		
進路設計支援費用	672	3,289
固定資産除却損	736	1,425
固定資産売却損	-	865
事業整理損	546	793
株式交換差損	-	543
店舗等閉鎖損失	1,962	466
減損損失	305	14
災害による損失	1,350	-
新店舗開業費用	495	-
特別損失合計	6,070	7,399
税金等調整前四半期純利益	11,496	5,758
法人税、住民税及び事業税	2,698	3,307
法人税等調整額	2,571	△82
法人税等合計	5,269	3,224
四半期純利益	6,227	2,533
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,227	2,533

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	6,227	2,533
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,762	1,069
繰延ヘッジ損益	16	-
為替換算調整勘定	△58	△161
退職給付に係る調整額	187	330
持分法適用会社に対する持分相当額	△469	△620
その他の包括利益合計	△2,085	617
四半期包括利益	4,141	3,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,141	3,151
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	370,438	282,304	6,663	40,998	700,406	—	700,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	208	3,849	13,086	20,600	37,745	△37,745	—
計	370,647	286,154	19,750	61,599	738,151	△37,745	700,406
セグメント利益	13,485	461	3,346	4,628	21,922	△5,644	16,277

(注) 1. セグメント利益の調整額△5,644百万円は、セグメント間取引消去であります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食品事業」セグメントにおいては、イズミヤ株式会社他について、店舗の閉鎖等に伴い、当第3四半期連結累計期間に823百万円の減損損失を計上しております。なお、店舗閉鎖に係る損失521百万円について、四半期連結損益計算書においては、特別損失の店舗等閉鎖損失に含めて表示しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	百貨店 事業	食品 事業	不動産 事業	その他 事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高							
外部顧客への売上高	370,615	270,628	6,169	46,563	693,976	—	693,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	203	4,077	12,661	20,206	37,149	△37,149	—
計	370,818	274,706	18,831	66,770	731,126	△37,149	693,976
セグメント利益又は 損失(△)	10,696	△1,100	3,162	3,628	16,386	△4,495	11,891

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4,495百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「百貨店事業」、「神戸・高槻事業」、「食品事業」、「不動産事業」及び「その他事業」の5区分から、「百貨店事業」と「神戸・高槻事業」を統合した4区分に変更しております。この変更は、2019年10月1日付でそごう神戸店・西武高槻店の事業を株式会社阪急阪神百貨店へ移管したことに伴うものです。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

重要性に乏しいため、記載を省略しております。

## 5. 補足情報

### 連結

#### 販売費及び一般管理費の状況

(百万円)			
科目	金額	前年比	増減
人件費	71,565	100.2%	+ 135
賃借料	30,468	102.8%	+ 840
宣伝装飾費	8,473	76.3%	△ 2,635
減価償却費	12,800	105.7%	+ 690
委託作業費	15,022	103.6%	+ 524
販売手数料	10,997	116.0%	+ 1,520
運搬費	11,849	97.3%	△ 334
その他	25,338	101.1%	+ 287
販売費及び一般管理費	186,515	100.6%	+ 1,029

#### 営業外損益の状況

(百万円)			
科目	金額	前年比	増減
営業外収益	3,280	103.4%	+ 107
受取利息	122	203.3%	+ 62
受取配当金	1,302	99.3%	△ 9
諸債務整理益	1,185	103.3%	+ 38
その他	669	102.6%	+ 16
営業外費用	2,871	116.7%	+ 410
支払利息	577	88.2%	△ 77
商品券等回収引当金繰入額	942	106.2%	+ 54
その他	1,351	147.1%	+ 433

#### 特別損益の状況

(百万円)		
科目	金額	主な内容
特別利益	857	(対前年+279百万円)
固定資産売却益	840	イズミヤ泉佐野店
負ののれん発生益	17	
特別損失	7,399	(対前年+1,328百万円)
進路設計支援費用	3,289	イズミヤ
固定資産除却損	1,425	阪急阪神百貨店、阪急商業開発
固定資産売却損	865	イズミヤ大東店
事業整理損	793	キッチンエール九州事業終了、ウイズシステム事業譲渡
株式交換差損	543	家族亭株式およびサンローリー株式とSRSホールディングス株式との株式交換
店舗等閉鎖損失	466	セルシー建て替え、イズミヤ店舗再編
減損損失	14	

## ㈱阪急阪神百貨店

### 経営成績

(百万円)			
	金額	前年比	増減
売上高	348,529	103.1%	+ 10,528
売上総利益	83,424	101.2%	+ 963
(売上総利益率)	23.94%	-	△0.46pt
その他の営業収入	1,169	272.5%	+ 740
販売費及び一般管理費	73,685	105.8%	+ 4,070
(販管費率)	21.14%	-	+0.55pt
営業利益	10,908	82.2%	△ 2,366
(営業利益率)	3.13%	-	△0.80pt

※ 2019年10月1日付でそごう神戸店及び西武高槻店の事業を株式会社エイチ・ツー・オー アセットマネジメントから株式会社阪急阪神百貨店へ移管

- ▶ 阪急本店の免税売上高前年同期比109%、構成比13%
- ▶ 阪神梅田本店は、前年の建て替え前の売りつくしバーゲン、建て替え第Ⅰ期棟開業景気の反動により減収
- ▶ 神戸高槻事業の統合に伴う費用の増加

### 店別取扱高、入店客数

(百万円、千人)				
	金額	前年比	入店客数	前年比
阪急本店 ※1	190,740	101.9%	35,820	95.6%
阪神梅田本店	36,498	94.1%	23,092	92.0%
千里阪急	11,806	97.2%	3,606	98.2%
高槻阪急 ※2	5,601	-	2,354	-
川西阪急	11,433	96.2%	4,430	98.0%
宝塚阪急	5,663	99.3%	※4 -	-
西宮阪急	19,107	100.3%	10,047	101.1%
三田阪急	1,046	99.8%	※4 -	-
神戸阪急 ※2	10,465	-	4,976	-
博多阪急	38,169	99.7%	20,514	98.9%
阪急メンズ東京	9,949	90.8%	1,961	104.9%
大井食品館	3,449	100.7%	4,063	98.8%
都筑阪急	3,530	100.1%	2,748	98.3%
あまがさき阪神	2,218	99.8%	※4 -	-
阪神・にしのみや	3,388	99.6%	3,282	101.1%
阪神・御影	401	99.3%	3,664	99.0%
支店計	126,231	112.6%	61,651	112.9%
全店計	353,471	104.6%	120,563	102.9%
既存店計 ※3	337,404	99.8%	113,233	96.6%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 2019年10月5日営業開始。百貨店の売上高と専門店の取扱高の合計。

※3. 神戸阪急および高槻阪急を除く

※4. 入店客数計測器を設置していないため

## 商品別取扱高

（百万円）

	金額	前年比	構成比
紳士服・洋品	30,661	99.3%	8.7%
婦人服・洋品	46,957	99.4%	13.3%
子供服・洋品	7,461	101.3%	2.1%
その他の衣料品	8,102	94.3%	2.3%
衣料品	93,182	99.0%	26.4%
身の回り品	65,720	103.2%	18.6%
家庭用品	10,107	99.5%	2.9%
食料品	102,370	105.9%	29.0%
食堂・喫茶	7,448	100.8%	2.1%
雑貨	66,688	105.4%	18.9%
サービス	1,891	115.4%	0.5%
その他	6,061	560.8%	1.7%
合計	353,471	104.6%	100.0%

## 月次取扱高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
阪急本店 ※1	104.6%	100.4%	107.6%	103.8%	106.7%	129.5%
阪神梅田本店	84.9%	100.5%	79.1%	95.9%	96.4%	121.7%
支店 計	101.2%	99.7%	102.0%	97.9%	97.8%	107.2%
全店 計	101.0%	100.2%	101.8%	101.0%	102.5%	121.3%
阪神本店除く 全店計	103.4%	100.1%	105.4%	-	-	-
既存店計 ※2	-	-	-	-	-	-

	10月	11月	12月
阪急本店 ※1	84.2%	94.1%	94.5%
阪神梅田本店	84.9%	93.4%	94.2%
支店 計	124.7%	133.7%	136.1%
全店 計	97.5%	107.4%	108.0%
阪神本店除く 全店計	-	-	-
既存店計 ※2	85.5%	94.6%	95.4%

※1. 阪急メンズ大阪を含む

※2. 2019年10月営業開始の神戸阪急・高槻阪急を除く

## イズミヤ(株)

### 経営成績

(百万円)				既存店売上高	
	金額	前年比	増減		前年比
売上高	161,770	96.4%	△ 5,954	食料品	93.6%
売上総利益	41,901	94.1%	△ 2,650	衣料品	90.0%
(売上総利益率)	25.90%	-	△0.66pt	住居関連品	92.2%
その他の営業収入	11,101	99.4%	△ 68	合計	92.9%
販売費及び 一般管理費	54,604	97.5%	△ 1,414	店舗数	(店)
(販管費率)	33.75%	-	+0.35pt		店舗数
営業利益	△ 1,601	-	△ 1,304	合計	85
(営業利益率)	-	-	-	(前年差)	-

### 開閉店の状況

開店	和泉府中店(大阪府)、新中条店(大阪府)、花園店(大阪府)
閉店	東寝屋川店(大阪府)、泉佐野店(大阪府)、若江岩田店(大阪府)

### 月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全店	96.4%	99.5%	99.6%	90.4%	97.9%	101.1%
既存店	94.6%	97.2%	96.5%	87.9%	95.7%	99.2%

	10月	11月	12月
全店	88.1%	93.2%	92.1%
既存店	86.5%	93.1%	90.8%



## (株)阪急オアシス

### 経営成績

(百万円)				既存店売上高	
	金額	前年比	増減		前年比
売上高	82,769	95.7%	△ 3,737	合計	94.0%
売上総利益	21,578	98.3%	△ 378		
(売上総利益率)	26.07%	-	+0.69pt	店舗数	(店)
その他の営業収入	5,280	103.7%	+ 187		店舗数
販売費及び 一般管理費	26,974	101.0%	+ 258	合計	78
(販管费率)	32.59%	-	+1.71pt	(前年差)	+ 3
営業利益	△ 114	-	△ 449		
(営業利益率)	-	-	-		

#### 開閉店の状況

開店	福島ふくまる通り57店(大阪府)、キセラ川西店(兵庫県)、 南茨木店(大阪府)、営業再開:茨木東奈良店(大阪府)
閉店	山下店(兵庫県)、くまた店(大阪府)

### 月次売上高前年比の推移

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
全店	94.4%	93.6%	94.7%	92.7%	95.6%	97.2%
既存店	97.0%	94.9%	94.1%	91.6%	92.2%	94.0%

	10月	11月	12月
全店	95.5%	99.2%	98.0%
既存店	92.5%	95.2%	94.1%